『なかなかつながらないんです』　作：岩本憲嗣

■登場人物

　日野洋介（２３）　大学生

　辻亜美（２５）　日野の先輩

○日野のアパート

　　　日野洋介(23)が電話機の子機で何度も電話をかけてはかけ直している。

　　　辻亜美(25)が買い物袋片手にやってくる。

亜美「ただいまぁ、おかえりぃ、おい！！」

日野「あぁ、お帰りなさい」

亜美「お帰りなさいじゃないよ、何してる？」

日野「何って…言われた通りに電話を……」

亜美「何でまだ電話かけているわけ？帰宅した私に朗報をきかせるべき時間でしょ？」

日野「それがね、なかなか繋がらないわけよ」

亜美「あー！ウダウダいいから手を休めない早くしないと売り切れちゃうでしょ！！」

日野「一生懸命やってますよ」

亜美「え？どこが？君は知らないわけか？公衆電話の方が繋がりやすいんだぞ」

日野「そんなの迷信でしょ」

亜美「迷信かどうかやってきなさいよ！あ、ついでにチーカマとミニサラミと……」

日野「本当に行くの?」

亜美「行かないの？」

日野「あのですね…この際だから言わせて貰いますが……僕は亜美さんのなんなんでしょうか？」

亜美「え？知らないの？」

日野「いや、知ってるというか思い違ってるというか……何というか…」

亜美「あのね、何の為に自分が必死こいて電話してるかもしらないわけ？はぁ？」

日野「は？」

　　　日野、受話器を耳にあてる。受話器からオペレーターの声が聞こえてくる。

オペレータ「はい、こちらクリスマスディナークルーズ事務局でございます」

　　　【終】

※ご利用上の注意※

・本脚本はどなたでも無料にてご利用いただけます。

・ご利用に当たっての改変などに制限は設けておりません。皆様のご都合に応じて自由に改変頂いてかまいません。

・本脚本をご利用頂く際は必ず作者（gumba1227@hotmail.com）までご一報頂けますようお願い致します。

・但し、練習での使用などの場合はご連絡の必要はございません。

・連絡が必要かどうかの基準は以下の通りでございます。

　※連絡不要の場合

　　・仲間内で集まっての練習でのご利用。

　　・Skypeなどを介しての第三者の聴取・視聴が出来ない形でのご利用。

　※連絡が必要となる場合

　　・ツイキャスやニコ生など第三者の聴取・視聴が可能な状況下でのご利用。

・連絡を要する形でのご利用の際は、必ず作品名・作者名をどちらかに記載いただけますようお願い致します。

　その他ご不明な点ございましたらお気兼ねなく下記までご連絡下さい。

　gumba1227@hotmail.com（岩本）